

## 2019年度特別支援学校と高等学校との交流及び共同学習実施事業

### 交流及び共同学習における取組例

県立洲本高等学校

#### 活動の実際（単元名）

フードデザイン（調理実習）

「マカロニグラタン、ミネストローネ、ブロッコリーと卵のサラダ、スイートポテト、果物（みかん）」

#### 指導目標

- ・教え合い、学び合うことで主体的に授業に取り組む
- ・生徒の障害に対する理解を深め、互いに協力することで生徒の意識の変化を促す

#### 事前学習

- ・栄養バランスやいろいろを考え献立を作成し、メニューごとのレシピを作る
- ・事前に調理をすることで、材料、手順、時間等を確認
- ・役割分担を決める
- ・アレルギーを持つ生徒がいないかを事前に把握

#### 学習活動（具体的な取組）

- マカロニグラタン
  - ホワイトソース作り
  - 具材を炒める
  - オーブンで焼く
- ミネストローネ
  - 具材を切る
  - 炒める 煮込む
- スイートポテト
  - さつまいもの皮むき、輪切り
  - ゆでる つぶす
  - 成形
  - オーブンで焼く
- 盛り付け

#### 支援と留意点

- 役割分担の確認
- 器具・包丁の使い方の指導
- 火傷に注意させる
- 分量や火加減の指導
- 本校生徒が手本を見せながら、一緒に作業を進める

#### 評価

初めはお互いに緊張している中での作業だったが、会話を多く取り入れることで、しだいに打ち解け合い、積極的に実習に取り組むことができた。その後試食をして、お互いの学校の話や趣味の話などをすることで、互いの内面を理解し合うことができ、充実した時間を過ごすことができた。

#### 事後学習

- ・交流及び共同学習の振り返り（レポート作成）
- ・相手校へのお礼として、同じ班で作業をした生徒さんへのメッセージ作成と先生方へ感想文を届けた

#### 成果と課題

- ・少人数での交流及び共同学習のため、両校の生徒ともあたたかな雰囲気での交流ができた。この活動が全校生徒に広がるようにつなげたい。
- ・エレベーターやスロープを設け、車イスでの乗り入れを可能にすることで交流及び共同学習の人数を増やすことができるのではないか。
- ・年度当初に年間計画を組み、双方にとって充実した企画となるように配慮する。